



出町ゆかりだより

日本共産党
高槻市議会議員

発行：日本共産党高槻市議会議員団 出町ゆかり

連絡先：議員団控室 TEL072-674-7230 FAX072-674-3202

NO.116 2022年1月



12月議会で一般質問をしました。今回は榎田地域や松ヶ丘、安岡寺などスーパーまで遠いところや、勾配のあるところにお住まいで、買い物が困難になってきたという声をお聞きし「買い物弱者支援」についての質問をしました。

12月議会の報告

国の状況

経済産業省は、買い物弱者とは「交通機能や交通網の弱体化とともに、食料品等の日常の買い物が困難な状況におかれている60歳以上の一人」とし、全国に700万人の買い物弱者がいるとし、解消に向けた取り組みをしています。

農林水産省は、食料品アクセス問題に対する市町村の取り組み状況を把握するために、毎年1,741の市町村を対象にアンケート調査

をしています。

総務省も移動販売などの買い物弱者を支援する事業の経営状態を調査し、7割が実質赤字となっており、補助が必要だとしています。

東京医科歯科大学の研究では買い物に不便があるほど、食品摂取の多様性が低く、活動能力も低くなり、健康リスクや死亡リスクも高いということが報告されています。

他市の状況

茨城県牛久市では、移動販売事業の連絡協議会をもち、「牛久市、買い物支

学童保育の今後の方針(案)

高槻市では学童保育の対象は原則小学校3年生までですが、4年生以降の検討が求められています。障害児の4年生からの入室基準は、ひとり親家庭でないとい

また、公立では高学年対応の検討はしないとしています。子どもが通う学校で、引き続き保育して欲しいとの要望もあります。日本共産党は「今後の課題として公立学童でも高学年対応を検討を」と求めました。



明けまして、おめでとうございます

動販売の運営費に1か月1万円、車両購入費の補助は必要経費の2分の1(上限100万円)の補助をしています。

出町の意見

高槻市はこの10年間で75歳以上が約1.5倍になっていきます。今後も、買い物弱者は確実に増えます。先日榎田地域で移動販売を実験的にしましたが、実施している方は1日10万円の売り上げがないと赤字だと言っておられました。

市の意見

高槻市も、せめてガソリン代や助手を雇う補助など出せないのか、また市と業者と地域とで連絡協議会をつくる必要ではないかと要望しました。

日常生活の困りごとに対する支援サービスを提供する民間団体の活動や、配送サービスなどを行っているスーパーマーケットも増えていることをふまえ、国や近隣他市の動向を注視していきます。

市民都市委員会協議会

山間地域（樫田・萩谷・川久保）の
交通集団について検討が始まる

高槻市は、市営バス
の経営について、人口
減少、少子高齢化での
需要の減少で厳しさを
増し、新型コロナウイルス
の影響を大きく受けて
いるとしています。
特に田能線（原大橋
より北の地域）、萩谷

線（関西大学より北の
地域）、成合・川久保
線（上成合より北の地
域）の地域は、利用者
が少なく、乗合バス、
デマンド交通等の交通
手段の検討が必要とし
ています。

	一般乗合旅客自動車運送事業		
	路線定期運行	路線不定期運行	区域運行
一般的な例	乗合バス（定員11人以上） 乗合タクシー（定員10人以下）	デマンドバス（定員11人以上） デマンドタクシー（定員10人以下）	
運行の特性	時刻と路線を定めて、 定時定路線で運行	路線を定めて、 予約により運行	運行地域を定めて、 予約により運行
利 点	●時刻と路線を定めた 一般的な運行のため、 利用者にとってわかりやすい ●比較的まとまった利 用者に対応しやすい	●予約により運行する ため、燃料費の削減 等が図られる。 ●路線を定めて運行す るため、予約が比較 的まとまりやすい	●予約により運行する ため、燃料費の削減等 が図られる ●利用者のニーズより 柔軟な運行ができる ●低密度で広範に分布 する利用者に対しても、 面的なカバーができる
留 意 点	●利用の有無に関わら ず、常に運行する必要 がある ●閉散時においても、 一定の経費が必要とな る	●利用者は予約が必要 となる ●予約がまとまらない 場合は、非効率な運 行や経費増加となる	●利用者は予約が必要 となる ●予約がまとまらない 場合は、非効率な運 行や経費増加となる ●タクシーとの競合の 懸念があるため、差 別化が必要となる

阪急電鉄本社に申し入れ

阪急富田駅東西踏切の安全確保のため

12月14日（火）に、
たつみコータロー前参
議院議員、富田地域に
お住いの市民の方と、
阪急電鉄株式会社によ
り申し入れた。

要請内容は、①阪急

富田駅の東西踏切につ
いて、車の渋滞や、踏
切を渡るための安全を
少しでも良くするた
め、遮断機を閉める時
間を短くすること、そ
うものです。

高槻市や大阪府がその気になれば、
阪急も対応する

阪急は、危険な踏切
や交通渋滞の実態を認
識していることを前提
にして、

①待避線は阪急高槻
市駅の高架化工事
のために、暫定的
につくったもので
あり、当初は撤去
する予定であった

のために阪急富田駅に
設置されている待避線
を撤去してほしい。

②東側踏切について
は、人、自転車、車な
どが集中し、極めて危
険であり、安全対策と
して、朝と夕方の混雑
時にガードマンなどを
配置するなどの対策を
大阪府や高槻市と協力
して取ってほしいとい
うものです。

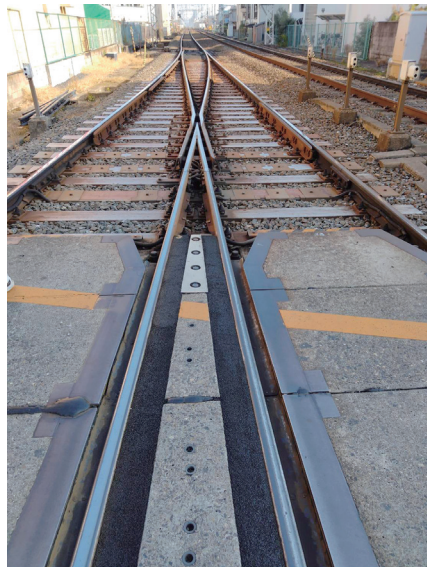
問われる大阪府・高槻市の姿勢

大阪府や高槻市は、

それぞれ「待避線の問
題は関係ない」として
いましたが、これには
根拠がなく、大いに関
係あることも明らかに

なりました。

今後、高槻市や、大
阪府にも要求を出し
て、阪急とも相談して
少しでも踏切が閉じる
時間を減らしていく
ために、
頑張ります。



いま、おすすめしています
しんぶん赤旗
日刊●月3,497円／日曜版●月930円